

ワークライフバランスで人間らしい仕事を

最近、政府、財界、労働組合が「ワークライフバランス推進」を言っています。本来のワークライフバランスとは、何でしょうか。

政府・財界は、「流動的で多様な働き方、成果主義的な処遇」への転換です。政府・財界は「ワークライフバランス」を《隠れ蓑》に、正規賃金の「非正規化」、古い働き方から「新しい働き方」に変えようとしているのです。しかし、その中身は「終身雇用的な働き方、年功賃金的な処遇」から「流動的で多様な働き方、成果主義的な処遇」への転換です。政府・財界は「ワークライフバランス」を《隠れ蓑》に、正規賃金の「非正規化」、古い働き方から「新しい働き方」に変えようとしているのです。しかし、その中身は「終身雇用的な働き方、年功賃金的な処遇」から

電機連合や日立労組は、今年の定期大会で、ワークライフバランスを「一人ひとりがどのような人生を送りたいかというビジョンを描き、その生き方を実現する働き方実践する」として、総労働時間一八〇時間の短縮

や年次有給休暇の完全取得をあげています。しかし、ワークライフバランスを破壊している成果主義賃金制度や裁量労働制の問題、職場で激増している非正規雇用の労働者の労働条件改善などの視点は見られません。

本来の「ワークライフバランス」には、全ての働く者は、「仕事と生活を両立させ、人間らしく生きたい」という願い・要求が込められています。その実現のために必要なことは、

1. 労働者の生活が安定し、本人も家族も安心して働けること。
2. 労働者の生活が安定し、一年を超えて働けること。
3. 労働基準法違反のただ働きはさせない、許さないこと。
4. 派遣労働で一年を超えて働けること。

働く者のための「改革」は実現できます

日本の企業の経常利益は、一九九八年の二二・二兆円から二〇〇五年には五一・七兆円と二・四倍に急増しています。これは「もうけ過ぎ」です。労働者の待遇が改善されれば、労働者はもっと力を発揮して、企業にとっても大きなメリットをもたらすことになります。



ワークライフバランスの発祥は一九八〇年代の欧米です。女性の職場への進出にともない、仕事を「家事や育児とのバランス」で考える風潮が広まりました。

そして、労働時間は、労働者が「人間らしい生活時間を確保できる長さ」とどめるべきだ、という考え方が、権利意識の高まりとともに形成されていったのです。

1. 長期安定雇用、正社員としての雇用を基本にすること。
2. 過労死やメンタル疾患という不幸な状態をなくすために、せめて厚生省の時間外労働時間上限のガイドライン、月四〇
3. 就業状況であれば、期間の定めのない直接雇用、すなわち正社員として雇用を義務付けること。
4. 賃金について強制力のある唯一の法律である、最低賃金を改正して、最低時給一〇〇〇円を実現すること。
5. パートタイマーや有期雇用労働者、派遣労働者など、雇用形態が異なっても、同一労働同一賃金の均等待遇の保障をすること。
6. 実現のために、みんな大声をあげていきましょう。

日立 懇

<発行> 2007年12月号
<茨城勝田地区版>

日立関連労働者懇談会

〒108-0073 東京都港区三田3-2-20

(電機労働者懇談会気付)

TEL(03)3455-6006 FAX(03)3451-3595

http://www.hitachikon.net

E-Mail info@hitachikon.net



「なんだ、なんだ」また選挙かよお!

やっと、ひたちなかの市議選が終わったと思つたら、今度は東海村の選挙だと言うことで、紹介者カードを書かせられたり、昼食懇談会に呼ばれたり、もうウンザリです。選挙権もないのに、ひたちなかの紹介者を書けと何回も言われ、事務所担当担当だと「朝、夕」のセレモニーに動員され仕事は二の次、こんな事が通用するのは、労組を隠れ蓑にした会社主導の「企業ぐるみ選挙」の実態です。

日頃は、法律の遵守、ルールを守れと言いながら、公職選挙法も投票の自由もあつたものではありません。選挙よりも、労働条件や職場の問題に取り組んでもらえないものなんでしょうか?

(日立工機)

おかしいし、やめてほしい!

選挙権も無いのに、選挙区外の人も、会社に勤めていることで、選挙運動に動員されるのは止めて欲しい。会社と組合が一体になってやっているが、本当に私たち組合員の為にやってくれているのか疑問です。選挙は自由に自分の選んだ人に投票するのが本当ではないか。会社が強制的に

押し付けるのは、おかしいし、やめてほしい!! (日立協和)

一斉定退日の駐車場
の渋滞を無くして

日立工機は毎週水曜日は「定時退勤日」です。定退日の車の渋滞は、車内でいらいらしながらじっと我慢となり、大変辛いものです。解決策はないものか?

この10月に行われた市議選の時には、会社は決起集会の参加者の便宜を図るために、入口、出口から左右に出られるようにしました。定退日だけでも、このようにすれば、渋滞は今より半減すると、多くの人の声です。抜本的には、出口を二車線にするか、他に出口を作ることが考えられれます。(日立工機佐和)

定年後の年金/増す
不安

厚生年金の満額支給までの年令が、64歳、65歳と上がっていくにつれて、今ごろジワツと「不安が押し寄せてきた」と言う人がいて周りの人もうなずいていた。(日立協和)

上がる税金と物価
上がるらぬ給料

住民税の大幅アップに石油製品の値上がり、あらゆる物が上がってきています。ガソリンもついに150円を超えましました。灯油の値上がりもすさまじい。色々な物が上がって、も上がらぬのが給料。増えるのは仕事ばかり、今年の冬は

一段と寒くなりそう。(HISEC)

サービス残業の
是正指導か

先日、「残業時間は、PCのオン、オフ時間と差異の無いように申告すること」と言われた今までは「自己申告」で、サービス残業も当たり前にされてきたので、「急にどうしたのか」と職場で話題になった。そして、「労基署からサービス残業に対して是正の指導があつたようだ」との話しもでた。

会社が労働時間をPCで管理しているから「自己申告」まかせで、本来当然払うべき残業代を払わずにきたのであれば、今までの分も含めて残業代をきちつと払うべき。

それが、会社の言うコンプライアンス(法令順守)ではないか。(HIMEC)



編集後記

日立懇ヒラを読んでいただき有難うございます。日立懇茨城では、日立地区に続き、ひたちなか地区版のニュースを発行いたします。働く者の要求実現のため、各工場、職場の声を皆様にお届けいたします。皆様からの記事、情報をお待ちしています。